

面接時配慮事項調査票

第2次選考（面接）の準備のために必要になります。『面接時配慮事項調査票』の記入上の注意事項を確認しながら、各項目の該当する箇所をチェックしてください。

フリガナ		生年月日
氏名（漢字）		年 月 日生

○第2次選考（面接）に際し、配慮を必要とする

はい いいえ

「はい」を選択した方は、以下の該当する箇所にチェックしてください。必要のない項目は無回答でかまいません。

「いいえ」を選択した方は、以下に回答する必要はありません。

試験官の発言事項を書面・パソコン等又は手話通訳で伝達する

※選考会場に手話通訳者を配置します

書面・パソコン等を希望

手話通訳を希望

書面・パソコン等と手話通訳両方希望

受験者の発言事項を書面・パソコン等又は手話通訳で伝達する

書面・パソコン等を希望

手話通訳を希望

書面・パソコン等と手話通訳両方希望

補聴器・補聴システムを持ち込んで使用する

車いすを使用する

公共交通機関ではなく、自家用車等で国立国会図書館に来場する

介助のための付添人が選考会場に来る

※付添人の方には、面接時間中は別室を用意します

身体障害者補助犬を同伴する

盲導犬

介助犬

聴導犬

その他（上記以外の配慮の必要があれば、具体的に記入してください）

『面接時配慮事項調査票』の記入上の注意事項

面接時配慮事項調査票には、国立国会図書館が第2次選考（面接）の準備に当たって必要となることを記入していただきます。

『第2次選考（面接）に際し、配慮を必要とする』については、配慮を必要とする方は『はい』を、配慮を必要としない方は『いいえ』を、○で囲んでください。

『いいえ』を○で囲んだ方は、以下にチェックする必要ありません。

聴覚障害のある方については、試験官や受験者の発言事項を書面・パソコン等又は手話通訳で伝達することが可能です（第2次選考会場に手話通訳者を配置します）。希望する方はチェックしてください。

チェックした場合は、伝達方法について、『書面・パソコン等を希望』、『手話通訳を希望』、『書面・パソコン等と手話通訳両方希望』の3つから1つを選択してチェックしてください。

補聴器・補聴システムを持ち込む方はチェックしてください。

車いすを使用する方はチェックしてください。

公共交通機関ではなく、自家用車等で国立国会図書館に来場する方はチェックしてください。

介助のための付添人が選考会場に来る場合は、チェックしてください。

介助のための付添人は、面接時間中に試験室に入室することはできません。面接時間中は別室を用意します。

身体障害者補助犬を同伴する場合は、チェックしてください。チェックした場合は、『盲導犬』、『介助犬』、『聴導犬』のいずれかをチェックしてください。

その他の欄には、選考に当たっての配慮が必要な場合であって、チェックできないものを具体的に記入してください。

記入した希望については、選考の実施上、配慮できない場合もあります。